

# ◆◆◆ 本書の使い方 ◆◆◆

## 第1部

検査の基本的な考え方が解説されています。重要ですが、あとで読んでも構いません。

## 第2部

本書のメインです。診断につなげるための、各検査値の読み方が解説されています。

1～4  
検査の基本情報が記載されています

2 実践での使いこなしポイント  
鑑別疾患へのアプローチを解説しています

### 1

#### 病態生理からわかる鑑別疾患

検査のメカニズムや、鑑別疾患の病態生理など、検査を診断に役立てるための知恵を解説しています

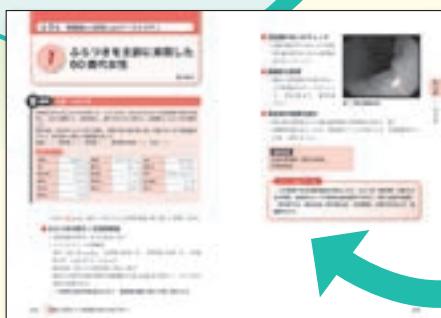
### 3

#### 鑑別疾患に対する検査特性

感度や特異度など、疾患に対する検査の性能(検査特性)について解説しています

## 第3部

検査値から診断に迫るケーススタディです。各検査値の判断は巻末付録の基準値に従っています。



## 付録 基準値一覧

※ 基準値は施設ごとに異なります  
(第1部-3 参照)。実際は各施設の基準値に従ってください。